

# 国際交流サロン

9月は「豆腐の発祥地探し」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

モノ/コト	豆腐
発祥地	中国の上海の北西に位置する淮南市。中国では豆腐を別名で淮南術、淮南佳品と呼んでいます。発祥地の安徽省淮南市の中国豆腐分化節の祭りには現在も世界中から豆腐関係者が集います。
いつごろ	紀元前2世紀。前漢の時代に始まり、唐時代になって、豆腐造りが盛んになりました。
誰がはじめたか	前漢の淮南王・劉安の創作と16世紀の中国の書「本草綱目」に書かれています。豆腐は寺院のお供物とされ、唐時代の中期ごろから、町で造られ食べられるようになりました。日本へは、奈良時代に遣唐使の僧侶によって伝えられたといわれています。



◀行幸会の武さんに祭りの衣装を着つけてもらう外国人

## 10月の国際交流情報

### 国際交流英語の座談会

日時：10月12日(土)

午前11時～午後0時30分

会場：友部公民館 創作室

ゲストスピーカー：

Anjeza Alaj (コソボ共和国)

### ☆10月の日本語教室の開講日

10月5日(土)・12日(土)・19日(土)

(友部公民館 午前10時～)

### 国際交流英語の座談会のご案内

笠間市国際交流協会では、10月12日(土)、コソボ共和国出身の茨城大学大学院留学生Anjeza Alajさんをゲストスピーカーに迎え、「国際交流英語の座談会」を開催します。コソボ共和国はアルバニア・セルビア・マケドニアに囲まれた中世の文化が残る新しい独立国です。

座談会は英語で行いますが、英語と日本語の資料を用意しますので、お気軽にご参加ください。また、スラブ民族の伝統的なお菓子とお茶もお楽しみください。参加費：500円(資料とお茶代)※先着20名まで

参加を希望する方は、国際交流協会(090-2871-8711)に10月4日(金)までに連絡してください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)

## 雑草

## 市長コラム

私の雑草に対するイメージは、踏まれても踏まれてもくじけることなく、力強く成長する強さ。一方で、取つても刈つても所かまわずすぐ生えて、景観を損ねるどうしようもないくせ者。雑草には2つのイメージを持っています。

その雑草が、笠間市の道路や公共施設など、いたる所に我がもの顔で成長し、管理する私たちを悩ませています。特に道路の縁石に沿って生える雑草は、街の景観を悪化させてしまっています。道路の管理は、国、県、市それぞれで行っていますが、公共事業の見直しによる管理費の減額に伴い、草刈りの回数が大幅に減少しており、国や県は各地域とも年1回の実施となっています。市も年に1回、2回の草刈りを

していますが、追いつかない状況であります。

県では、県道の一定区間の管理を地元にお願する道路里親制度を平成15年からスタートして、市内では5団体で行っています。本市でも同じ制度を平成22年から市道で実施しており、現在34団体にお願いし、道路の適正な管理を目指しています。

しかし、制度があっても高齢化等により制度の活用が難しくなってきたり、地域ができています。そのような地域は、行政において責任を持って対応しなければなりません。

もちろん、自宅や店舗周りの道路の草取りをきちんとしてくれている方もおります。ぜひ、今後もお願したいと思っています。

道路事業の予算は、草刈りや補修等の維持・管理費のウェイトが中心となり、道路新設の予算は減少せざるを得ない状況であります。雑草の悪いイメージを払拭するため、道路沿線の雑草の処理について皆様からの一案をお願いいたします。

笠間市長  
山口伸樹

### ▲道路里親制度を活用し、管理されている道路



先月の「広報かさま8月」で校正の誤りによる数字の欠落がありました。読者の皆様ならびに関係各位にお詫び申しあげ訂正いたします。

8行目 畜産試験場跡地の面積  
〔誤〕約3ヘクタール  
〔正〕約35ヘクタール